

令和6年2月29日会議概要

第1 日時

令和6年2月29日（木）午前9時10分から午前11時05分までの間

第2 出席者

増田委員長、在田委員、池坊委員、森委員、森田委員
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長、監察官室首席監察官等
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 議題

(1) 令和5年中の懲戒処分等の状況について

首席監察官から、令和5年中の懲戒処分等の状況について報告があり、引き続き職員に対する踏み込んだ身上把握、指導、職務倫理教養の充実を図り、非違事案の未然防止に努める旨、説明があった。

(2) 令和5年度中の留置施設実地監査結果について

総務部長から、令和5年度中の留置施設実地監査結果について報告があり、良好な事項、指導事項等について説明があった。

委員から、「看守の細やかな観察で、命を落としかねない病気の早期発見につながった旨の報告を受けたが、専門的な医療の知識がない中で被留置者の小さな異変を看過せずよく発見された。高齢者も多く、色々な疾患をもつ者や発症する者もいると思うので、今回の事例をよく周知していただき、引き続き事故のないようによろしく願います。」旨、発言があった。

(3) 天皇盃第35回全国車いす駅伝競走大会に伴う交通対策の実施について

交通部長から、3月10日、京都市内において開催される天皇盃第35回全国車いす駅伝競走大会に伴う交通対策について報告があった。車両通行止めや信号制御などによる交通規制を行い、約450人の体制で、選手の安全、競技の円滑な進行を確保し、交通渋滞を最小限に抑える等各種対策に取り組む旨、説明があった。

(4) 死亡ひき逃げ事件の発生・検挙について

交通部長から、2月26日、八幡市内の国道において発生した死亡ひき逃げ事件について、発生から約2時間半後、検索中の警察官により被疑者を発見し、逮捕した旨、報告があり、引き続き真相究明に向けて鋭意捜査を進める旨、説明があった。

委員から、「発生後、迅速に検挙できて良かった。引き続きしっかり捜査をよろしく願います。」旨、発言があった。

(5) サイバー捜査員の民間派遣研修について

サイバーセンター長から、4月1日から3か月間、サイバー捜査課の警察官1名をJC3（一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター）に派遣し研修させる旨、報告があった。

民間派遣研修は、高度な技術力を有する民間団体に警察官を派遣することで最新のサイバー犯罪の手口や対策、不正プログラムの解析等の専門的な知識・技能を修得させることを目的に平成27年度に全国に先駆けて京都府警が始め、現在は警察庁の調整のもと、全国警察で行っている。今回の研修では、経済的利益を目的としたサイバー犯罪や情報の窃取や業務妨害等を目的としたサイバー攻撃等情報を収集分析してその分析結果に基づく対策を講じる等の研修を行う。また、研修結果は企業側と府警側で共有する旨、説明があった。

2 個別決裁

(1) 令和6年能登半島地震に伴う「特別生活安全部隊（近畿管区第六次部隊）」の派遣について

生活安全企画課企画担当補佐から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。

(2) 令和6年能登半島地震に伴う「特別自動車警ら部隊（近畿管区第七次部隊）」の派遣について

地域課企画担当補佐から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。

(3) 令和6年能登半島地震に伴う「特別機動捜査部隊」の派遣について

刑事企画課次席から、警察法第60条第1項に基づく石川県公安委員会からの援助要求について説明があり、審議の上、部隊の特別派遣を決定した。

(4) 公安委員会宛て苦情について（受理4件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して、受理4件の報告があり、処理方針を決定した。

3 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、19件の行政処分を審議した。

4 個別報告

当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。